

令和5年9月11日発行

そっとよりそいはげまそう 希望に輝く 子どものために

はげましTIMES

(事務局便り第67号)

NPO法人学校支援
のべおかはげまし隊事務局
TEL:0982-29-3786



夏休み学習会

この夏休みは6つの学校で3日間ほどの学習会が行われました。ほとんどの学校で10名前後の生徒が自ら希望して参加していました。隊員さん方もマンツーマンに近い形で子ども達と一緒に夏休みの課題に取り組んでおられました。

恒富中学校は西小の先生の発案で、小学生と中学生が合同で隊員さんとともに学習を行っていました。参加していた小学生からは、「楽しい。」「家ではせんから～」「楽しいわけじゃないけど、あつた方がいい。」などの声が聞かれました。

旭中校区ではコミュニティーセンターで寺子屋が開かれ、そこに隊員さんや大学生が出向き、集まった子ども達と一緒に学習をしました。



西階中学校



南中学校



岡富中学校



東海中学校



恒富中学校



旭中校区地域寺子屋

家庭科はげまし隊 (1学期の様子)



旭小学校では、5年生の子ども達が2人の隊員さんに見守られてゆで卵を作りました。火傷などもなく、笑顔満開の実習でした。



恒富中学校では、着付けの先生方と隊員さんとで浴衣の着付けを行いました。いつもと違う恰好に戸惑ったり、喜んだりの子ども達でした。

対面式いろいろ



延岡中学校



南中学校



恒富中学校

今年は、いろんな学校で対面式が復活しました。学校によっては、学年で集まらずに各教室で初めての授業の冒頭に行ったところもありました。

恒富中学校では、橋口コーディネーターがパワーポイントを使って「はげまし隊とは」から説明をされ、これまでになかった形式でしたが、とてもわかりやすく好評でした。



～「学ぶ楽しさ」をはげまし隊とともに～

延岡市教育委員会
社会教育指導員
竹林 二郎

今年度より、はげまし隊の仕事に携わらせていただいております。これまで、不登校適応教室「オアシス教室」において4年間勤務しました。延岡市において不登校は、重要課題の一つです。年度始めの4月、100名ほどの不登校の児童生徒がいます。5月の連休明けに少し増え、夏休み明けにさらに増え、年度終わりには約200名が不登校になるという状況が毎年続いています。

不登校になる要因は様々ありますが、その一つに学習に起因するものがあります。「授業が分からない」「問題が解けない」と自信をなくし、しだいに学習意欲をなくし、登校を渋り不登校になってしまいます。

「分かりたい 問題を解きたい 学びたい」という思いはみんなもっています。その初めのつまずきに手を差し伸べてくれるのが「はげまし隊」ではないでしょうか。昨年募集した川柳の中に「しのびよる タイミングよし ありがたや」というものがありました。タイミングよく教えてくれる隊員への感謝の気持ちが込められています。学校生活をより充実したものにするために、授業が楽しい学びの場になっていることが必要です。その意味でも、はげまし隊の果たす役割は大変重要です。

1学期に、隊員の方々の授業支援の様子を拝見し、児童生徒に献身的に関わる姿に感動しました。また、夏休みの学習会も感心させられました。一対一で生徒の横に座り、生徒との信頼関係も築かれ、掛け合いもよく言葉を交わし、思わず笑ってしまうほど楽しく学ぶ姿を拝見しました。「これは、中1ギャップもないな」と・・・はげまし隊の素晴らしさを実感しました。

はげまし隊が発足して13年が過ぎ、授業支援の形態も確立し、支援の教科も増え充実してきました。これまでの成果が生き生きと学ぶ子ども達の姿に写し出されています。これからもはげまし隊の温かな支援を受け「学ぶ楽しさ」を感じ取り、楽しい学校生活を送ってほしいと思います。